

令和2年度 3学期始業式 挨拶

新年明けましておめでとうございます。

13日間の冬休みが終わり生徒の皆さんが元気な姿で三学期を迎えることができましたことを、大変うれしく思います。

新型コロナウイルス感染症は年末・年始の間も拡大しており、医療機関は正月休みを返上して対応していたと聞いています。医療関係の皆様方には、本当に「ありがとうございます」の一言、感謝しかありません。生徒の皆さんにできることは、各自が「感染しない、感染させない」をモットーに、是非、引き続き感染症対策を継続してください。飛沫感染を防ぐために、三密を避けて休憩時間毎に換気をする、食事中などマスクなしでの会話をしないなどを再度徹底してください。お願いします。

さて、今日から三学期です。1・2年生は46日、3年生にとっては22日間という短い3学期ですが、特に、3年生にとっては高校教育の最終学期で、これが学校というものに通うのは最後という人もいます。

昨年初めに「ネズミ年は物事を始める年、種を蒔く年」と2・3年生の人にはお話ししました。もともと十二支は植物が循環する様子を表しています。丑は十二支の2番目で、子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされています。丑年には、先を急がず目の前をを着実に進めることが将来の成功につながっていくといわれています。

さて2学期終業式にお話した『今年の目標』についてですが今年の目標を定めたでしょうか？

3年生は間近に迎える卒業後の新生活について準備を始め、充実した佐伯高校生活を送ってください。

2年生は 2年間の学習活動や課外活動を元に、最高学年に向けてのステップをする時期、将来を考えて就職・進学受験への準備を始めてください。

1年生はもう一度、4月以降 1年間学んだことを振り返りながら1年間のまとめをして2年生に向けて芽を吹かせる年として欲しいです。

3学期の学習時間は多くはありません。常にそのことを意識することが大切であり、不可欠です。

厳しい寒さの中での学習、部活動となります。しっかりとした体調管理をしてほしいです。発熱やかぜ、けが等は避けたいものであり、自らの体調管理は自らが行うのが基本です。

皆さんが年の初めにあたり、今年は何を始め、何を伸ばすかを考えるチャンスにしてけるとともに、今年1年が皆さんにとって、良い年であることを祈って3学期始業式の挨拶にかえます。